

## 令和7年度第2回仙台市青葉区区民協働まちづくり事業評価委員会議事要旨

日 時：令和8年2月19日（木）

13時00分～16時30分

場 所：青葉区役所7階第1・2会議室

出 席：丹治委員長、小川副委員長、  
荒井委員、有坂委員、千葉委員

※過半数の出席により委員会成立

### 1 開会

### 2 挨拶 仙台市青葉区区民協働まちづくり事業評価委員会 委員長 丹治 重廣

### 3 議事

#### (1) 議事録署名人選定

◇ 荒井委員が議事録署名人として選任

#### (2) 令和7年度青葉区区民協働まちづくり事業 企画事業報告会

◇ 各団体から事業報告

◇ 質疑応答・意見等

(以下、評価委員からの主な意見等)

### 1. 仙台市ほたるの里づくり事業

(仙台市ほたるの里づくり協議会)

#### 【意見】

- ・ 10周年記念誌は紙媒体だけでなく、SNSやホームページでの発信、概要版の作成や公共施設での配架なども検討し、より多くの人に届く形で活用されることを期待。
- ・ 活動のPRをするにあたり、ホームページの活用は効果的であり、各地区のホテルに関する情報や開催場所の掲載、他のHPとのリンク連携など、情報発信の強化に期待。
- ・ 各地域で活動するほたるの会の団体同士で横のつながりを深めることで、高齢化や人手不足への対応にもつながるのではないかと。
- ・ 若い世代の関心を高めるため、イベント時の参加呼びかけや、学校・大学との連携をさらに進めていくことに期待。
- ・ 絵画コンクールや作文コンクールなど、学校との連携は子どもたちに魅力を伝える有効な取り組みであり、今後の継続・発展を期待。

#### 【質問】

- ・ 来場者アンケート結果の概要と、10周年記念誌のページ数・配布先などについて

## 2. 西公園キャンドルライトファンタジー事業

(西公園キャンドルライトファンタジー実行委員会)

### 【意見】

- ・ ろうそくや紙コップといった資材が、イベント終了後もうまく再利用できないか検討されることを期待。

### 【質問】

- ・ イベントに出店する飲食店の店舗数や内容について
- ・ イベント終了後のキャンドルや紙コップの活用方法について
- ・ 参加団体数、来場者数について

## 3. 回文の里づくり事業

(仙台・作並回文の里づくり実行委員会)

### 【意見】

- ・ 実行委員会が運営しているホームページ掲載作品は親しみやすく、小さな子どもでも関わられる文化だと感じられるため、その楽しさが伝わるよう、そういったホームページ等を活用し、PRをさらに工夫されることに期待。
- ・ 地元の小学校や市民センターとも連携しながら、回文の面白さを伝え、地域文化として広げていくことに期待。

### 【質問】

- ・ 団体の活動と、小学生・中学生との関わり方について
- ・ 回文グッズの売上の状況、会員数を増やすための取組みについて
- ・ 回文コンクールの審査員、審査方法について

## 4. 大倉ダムの魅力発信事業

(大倉ダムの魅力発信実行委員会)

### 【意見】

- ・ 協賛や参加費などをより工夫することで、さらに自立的・継続的な運営となっていく可能性があるため、収益面の工夫も検討していくことに期待。

### 【質問】

- ・ 実行委員や市民企画委員の構成や役割について
- ・ 町内会等地域の方と実行委員会との関わり方について
- ・ 協賛金等の集め方について
- ・ 飲食ブースや各種催し物の企画内容と実施方法・体制について
- ・ 来場者増加に伴う道路の狭さや警備費の今後の見通しについて

## 5. 宮城地区まつり事業

(宮城地区まつり実行委員会)

### 【質問】

- ・ 実行委員会のメンバー構成や、協議した内容について
- ・ 小さな子ども連れが休憩したり、遊ぶことができるスペースの状況について
- ・ 出展者によるルール違反の内容について
- ・ 青葉区民まつりと開催日が近接したことによる、来場者等への影響について

## 6. 青葉区民まつり事業

(青葉区民まつり実行委員会)

### 【意見】

- ・ 地元商店街との連携に期待。景品提供に加え、商店街独自の企画もあると、さらに人を呼び込める可能性。
- ・ これまでメイン会場だった市民広場が工事中だったため、商店街を活用した開催は有意義。
- ・ 収支報告が大まかで分かりにくいいため、もう少し詳細な資料により説明してほしい。

### 【質問】

- ・ 青プロと実行委員会の関係性について。
- ・ 市民広場の工事終了後におけるイベント開催形態・場所の見通しについて

## 7. 青葉区令和風土記作成事業（上杉地区・立町地区）

(上杉地区・立町地区各令和風土記実行委員会)

### 【意見】

- ・ 風土記は単なる記録にとどまらず、現在と過去の変遷など、読んで面白い内容となる工夫に期待。例えば地名や通り名が現在の形になった理由など、歴史的背景にも触れることで、地域理解がより深まる内容になることを期待。

### 【質問】

- ・ 編集に携わる方の人数や、発行予定部数について
- ・ 次年度以降の事業の進め方について
- ・ 編集会議における協議の内容について
- ・ 支出経費の内容について

## 8. 仙台伝統ものづくり塾事業

(仙台伝統ものづくり塾実行委員会)

### 【意見】

- ・ ポスターやチラシに加え、SNSなども活用しながら、より幅広い層の目にとまる周知方法を検討することに期待。
- ・ 若い世代等に参加を促すなど、仙台の文化に関心を持ち得る新たな層への働きかけも必要。

- ・ イベントの参加定員や実施回数を増やしたり、土日や夏休みといった長いお休みの期間等における実施も検討し、親子参加型の企画を取り入れるといったことも期待。

**【質問】**

- ・ 参加者募集の方法について

**9. 仙台の昔を伝える紙芝居作り・上演事業**

(仙台の昔を伝える紙芝居作り・上演)

**【意見】**

- ・ こども向けの紙芝居は、登場人物を絞り、長さや内容をより分かりやすくした方が、小さい子でも集中力を保ちやすく上演もしやすいのではないかと思われた。
- ・ 事業自体は有意義で広がりも見られるが、個人の活動周知や活動費支出に偏らないよう引き続き工夫していくことが必要。
- ・ 若い世代の参加やメンバー拡大に向けて、市政だよりやホームページによる広報に加え、新たな広報手段にも期待。

**【質問】**

- ・ 上演実行委員会の構成について
- ・ 紙芝居の作り方や、体制について
- ・ 若い世代にも有効な広報手法の検討について

(3) その他

**4 閉会**